

働きすぎ黒書 ニュース

全日本教職員組合（全教）生権局

東京都千代田区二番町 12-1 3 F

2007年1月30日

一年365日勤務！？

農業高校教員の母

娘は、一昨年「女性初」との鳴り物入りで、農業高校の先生になりました。朝は牛の搾乳で5時半出勤、盆も正月も土日もない「一年365日」勤務を、娘以外の方はされているそうです。分会もない職場の組合員である娘は、土日は組合活動や、JICAのOGとしての付き合いもあり、基本的には出勤しません。

「あんたは何で土日出勤せーへんのや」と聞かれて、返事に困るような異常な職場だそうです。表向き労働時間「週40時間」という教育委員会は、もちろん休みの日の人員の確保はしています。職場では「俺の牛」や「俺の花」を他人には触らせたくない人が多いそうなのです。しかし仕事を本人がしたがるからといって、休みもなしに働かせていいものなのでしょうか。（休日出勤のわずかな手当でも当てにしないと生きていけない教育公務員の現実もあるのでしょうか）

未来の日本の農業・酪農を担う人たちを育てなければならない人たちが、こんなに視野の狭い日常を送っているのは絶望的だと思います。

JICA：国際協力機構、外務省の独立行政法人

「働きすぎ黒書」が連合通信でもとりあげられました。